

相高祭も無事終わり、今週は一学期期末考査です。多くの生徒が初めてたくさんの人の前に立ち、自分でない自分を演じたり、本当の意味で、仲間との対話をすることができたのではないかと思います。その一瞬に本気で打ち込み、その一瞬のために仲間とぶつかり合い、その一瞬を超えて、各々が得たものをしっかりと感じて、自らの糧にしましよう。

保護者の皆様。お子様は、自分の将来に対して、どれだけ悩み、そのための進路をどう真剣に捉えているように見えますか？「もう高校生だから」「自分達の頃とは異なり、よく分からぬ」「子供を信用しているので」「子供のいうことを認めてやりたい」となるほど。確かに一理ある文言が並んでいます。だが、一番の根本を大人は忘れていませんか？

人の夢は僕い

「人の夢」と書いて、「はかない」と読みます。ならば、夢は叶わないものなのか。叶うかどうか分からぬものを夢に持ち、その夢に近付けるように努力し、涙し、挫折を感じながらも、前に進むことができる者もあれば、途中夢破れる者もいます。本当の夢とは、そうやって目指し、僅かが叶い、多くは幾人かは心が折れる、下を向いてしまう。そんな大きな重圧を、生徒だけで受け止めながら、進んでいく。勿論、いつまでも、大人が手を引いて、大人が前を歩き、守り続けるわけにはいきません。難しい時、困ったときに、大人が何をサポートしてやれるか。そのために、我々自身も、さまざまな情報をどのようにして、生徒が次の一步を自らどう踏み出し、進んでいくかが重要です。

過干渉、適干渉。大変難しい。だからこそ面白い。何度立ち止まても、何度後ろを振り返っても、再び、立ち上がり、前を向き、僕を感じた多くの夢から、自分の将来の道が開けてくるのではないでしょうか。

中心学年としての一年も、もう三か月が過ぎました。

【 Time is Money . But really , Can we buy the Time if we have the Money ? 】

いま、42回生の日常には、こんなことが起っています。月曜以外の小テスト。小テストは、朝のS.H.Rの時間に行っているはずなのに、月曜の早朝には、大教室2室を使った再テスト。お昼休みにも、別の教科の再テスト。翌日昼には再々テスト・・・。する方が悪いのか。やり方が悪いのか。どうして、2回目にはできるのか。あるいは、2回の受験ノルマを果たした後の罰書きノルマを、毎週肃々とこなす者。こんな光景は、なぜ起ころうのでしょうか。

相高祭も終わり、次へのステップを踏み出せるこのタイミングで、一度深く考えて、期末考査へと向かってほしいと思います。

承認済み
「連携元サービス：Benesse マナビジョン」
作成日時：2019-03-04 21:43

最近自分の活動を振り返ってますか

主に、総合的な学習の時間での探究活動に端を発し、Benesse マナビジョンに収めた活動報告の内容を、精選して文章化し、Japan e-portfolio に登録、担任の先生等に承認をして頂いて久しくなります。二学年になり、ペーロンの野外活動・各部活動での活躍・資格の取得等、自分の活動を振り返り、承認をする機会はありますが、実際にその振り返りは出来ていますか？他人事にならないで、自分の主体的で、仲間との協働的な活動報告を、継続して行いましょう。左の活動報告は、42回生の生徒の報告例です。理路整然とし、大変読みやすく、何を伝えたいのかがよく分かります。是非、参考にしてもらいたいと思います。

報告もさることながら、報告のために文章をどう構築するかを考える時間・労力が、この取り組みにおける本当の狙いだと、感じるようになっています。

相高祭を前にして、42回生のJapan e-portfolio承認済みデータは460件に達しています。一人1件は少なくとも登録しているはずですが、お子様とそんな会話をもて頂けるとありがたいです。

第42回相高祭 2年生は全クラス演劇に挑戦しました!!



1組

『今日から俺は』

2組

『相高×ハリーポッター!』

3組

『現代版竹取新喜劇』

4組

『相高生探偵コナン』

5組

『2年5組』

～今から皆さん人質です～』

プログラム表紙を拡大した、学年色のカラフルなシートに導かれて、第42回相高祭が開催されました。土曜日の天候の心配もさせられましたが、抜群の強運によって、バザーも片付けも無事に、まだ来ぬ梅雨を飛び越えた、台風の季節のような大雨をもやっつけてしまいました。昨年より始まった、第一学年の学年合唱も、一年前のことも思い浮かべながら、さらに素晴らしい唄声を届けてもらえたことに感激し、感謝したいと思います。相高祭の伝統になってくれそうです。その一番手に42回生が語られることは本当にありがたいことですね。そして、相高祭の頃に、出会いと別れが…。



教育実習生 鈴木貴子先生より

3週間教育実習生として、私を受け入れてくれてありがとうございました。相生高校は私の母校でもあるのですが、生徒から教員へと立場が変わって過ごすこの3週間は、学ぶことだけの毎日でした。私が2年生の授業を行ったのは、4組・5組の保健と1組のSHRだけで、2組・3組の人とは関わることのできる時間が少なかったのが本当に残念でした。せっかく第2学年のメンバーに混せてもらったので、保健も体育も全クラスに行きたかったです。しかし、廊下で会えば挨拶をしてくれたり、声を掛けてくれたりと、優しく接してくれたのでとても嬉しかったです。

私がこの3週間で学んだことは、「情熱・愛情を持って生徒と接する」ということでした。教育実習が始まって、最初は保健・体育の授業、SHRにおいて「上手くやらなければ」、「他の先生方のようにやらなければ」という焦りの気持ちでいっぱいでした。その結果、自分の伝えたいことが思うように伝えられず、上手く行かず悩む日が続きました。しかし、そんな時、ある先生から「上手くやろうではなく、自分が生徒をどうしてやりたいかという気持ちが大切だ」と声をかけて頂きました。そこからは、自分が何を伝えたいのか、何をしてあげられるのか、皆さんにどうなって欲しいのかということを、常に考えながら接してきました。

人々、私が保健体育教員を目指そうと思ったきっかけが、身体を動かすことを苦手としていて、体育の授業を楽しめない生徒に、身体を動かすことが楽しいと思ってもらい、楽しんでもらえる体育の授業がしたかったからでした。教育実習で壁にぶつかったおかげで、自分の原点を再確認することができました。本当に良かったです。

最後に、皆さんに伝えたいことがあります。それは、高校3年間はあつという間に終わってしまうということです。勉強は勿論大事ですが、それ以外にも部活や遊び、自分が打ち込めるものなど全てに全力を注いで欲しいなと思います。やりたいと思ったことは、躊躇せずチャレンジしていく欲しいなと思います。後悔をしている訳ではないですが、私自身が高校時代もっと広い視野で色々なことを経験しておけば良かったなと思うから。

そして今周りにいる友達を大事にすること。大人になっても、今周りにいる友達は皆さんにとってきっと大事な存在となります。私も大人になってから気が付きました。

長くなりましたが、この3週間、皆さんや先生方の貴重な時間を頂いて、とても充実した濃い時間を過ごさせて頂きありがとうございました。相生駅などでまた会うがあれば、是非声をかけて来てください。皆さんと過ごした時間を本当に忘れません。

3週間ありがとうございました。

人生の近い先輩・学校の先輩・そして、この先に42回生の一つの目標になるかもしないですね!
3週間ご苦労様でした。採用試験頑張ってくださいね。

ステージ発表を終えた各クラス
(他の仕事で抜けている人等
ごめんなさい)



自然科学コース 5組
相高個性派集団

緊張の中
好スタートを切ってくれました



魔法学校クラス 2組
意外な姿が見られました

2日目も異様な盛り上がりからのスタートで難しいスタートで
あったと思いますが、前日の演劇の空気を上手く引き継いで、
最後まで42回生としてフレることなく集中してくれました。



悔しさの涙は次への糧になる 1組
アトラクション部門 最優秀賞



一つ一つが着実な安定の 3組
アトラクションもご苦労様

二日間のラスト
笑顔で42回生の演劇を締めてくれました



理系らしく理詰めで 4組
待ちくたびれず冷静な演劇集団

さて、相高祭の成績発表としては

舞台部門

第1位 2年2組

『相高×ハリー・ポッター!』

第2位 2年4組

『相高生探偵コナン』

アトラクション部門

最優秀賞 2年1組

『イントロクイズ』

次は、すぐに球技大会です。

勝負にこだわり、チームワークを育て、体育大会、修学旅行へ。本音は、日々の学習習慣で、どんどんクラス対抗を行って欲しいものですね。

7月以降の予定

七月	三日(水)～九日(火)	期末考査
九日(火)	十日(水)	職業ガイダンス
十日(水)	十一日(木)	球技大会(四十二回生生徒会主体 午前中授業(1・2・3・4限))
十一日(木)	十二日(金)	挨拶運動
十二日(金)	十三日(土)	球技大会予備日
十三日(土)	十五日(月)	ベネッセ記述模試
十五日(月)	十七日(水)	海の日
十七日(水)	十八日(木)	G T E C アセスメント(3・4限)
十八日(木)	十九日(金)	学年集会
十九日(金)	十九日(金)～三十日(火)	終業式・大掃除
三十日(火)	二十二日(月)～二十九日(月)	保護者懇談会(除く土日)
二十二日(月)～二十九日(月)	夏休み前期補習(全員)	おもじろ科学実験教室(午後)
二十九日(月)	二十九日(月)	油引き前清掃
二十九日(月)	二十九日(月)	おもじろ科学実験教室(午後)

八月
二日(金)～十三日(火)～十五日(木)
自然科学コース体験入学
3年中期補習(主に難関校受験希望者)
今年度は、七月三十日(火)～八月一日(金)まで

九月
二日(月)～三日(火)
校内実力考查(数学)
校内実力考查(国語・英語)
+文系
地理系
地理・生物
物理・生物
地歴
化學
物理
地理
土曜講座
土曜講座
体育大会
体育大会
二十一日(土)
二十二日(金)
二十二日(水)
二十二日(土)

変更もあり得ますが、この予定で考えてください。

ちよつといい話

(私的な話でごめんなさい)

相高祭一日目。その日の夜、久しぶりに姫路のゆかた祭りに行きました。いくつかのクラスでは話をさせてもらいましたが、帰宅に向かう姫路駅北側の大通りで、警察帽姿のある青年に声を掛けられました。プライベートな時間とはいえ、何か悪いことをしたかなと錯覚していると、よく見れば、約十年前の卒業生でした。訳ありの生徒で、当時、素行、服装、態度等がなかなか優れず、部活動引退後には、ついには、「一度と俺の前に現れるな」と伝え、卒業式後の部活動のミーティングにも参加できなかつた生徒でした。

そんな彼でしたが、大学生活の中で、あるいは、日々の社会生活の中で、何か自分に言われていたことの意味が理解できるようになって、前々任校にわざわざ足を運んで、高校時代の自分の未熟さを詫びにきてくれて、警察官、しかも、白バイ隊員を目指して頑張っているということをその時聞きました。その年、その夢が叶い、警察学校入学直前に、原因不明の体調不良が発覚し、夢が途絶えました。まずは、体調を安定させて、そののち、次のことを考えたら、という会話をして以来の再会でした。最初に掛けた言葉は、「体調」についてでした。彼は、体調面についてはクリアできていること、そして、いよいよ白バイ隊員のチームに参加できるようになったことを、雑踏の中、警備をしている最中に、強いエネルギーを発して、力強い言葉をくれました。

難しい時代の教育に、どう向かい合うかを悩む日々ですが、こんな出来事に触れることが、まさにお金では買えない経験だと思います。本当に私的な話で申し訳ありませんが、ちょっとほつこりさせてもらえた出来事でした。

次回は一学期終業式に。 相高祭の感想を記載できればと思います。